

# 姫島村教育委員会アクションプラン

## 目標及び指標

### 【目標】

#### ア. 児童生徒の学力向上に係る目標(平成28年度)

- 1) 全国調査において、すべての教科で全国平均を超える。
- 2) 下位層の児童生徒を7%以下にする。

#### イ. 学力向上に関して抱える課題を解決するための目標

- 1) 「家庭学習のすすめ」を活用し、家庭学習習慣の定着を図る。
- 2) 学校と家庭が連携し、学習や読書に集中できる環境をつくる。

### 達成指標

- 全国調査で、すべての教科のA「知識」が全国平均を超えた学校数  
小(1/1) 中(1/1)
- 下位層(1段階)の児童生徒  
小・中とも7%

### 取組指標

- 小学校は、朝のかっこタイムや課後のチャレンジタイムを使って国語・算数の補充学習を毎週4回年間を通じて実施し、下位層の減少を図る。
  - 中学校は、課後のやはずタイムを使った国語・数学・英語のA問題対策を毎週3回年間を通じて実施し、下位層の減少を図る。
- 家庭学習習慣の確立に係る指標
- 決まった時間に決まった場所で勉強している児童・生徒の割合70%以上の学校数(アンケートによる調査)  
小(1/1) 中(1/1)

- 家庭学習習慣の確立ができた児童・生徒が70%以上の学校数  
小(1/1) 中(1/1)

## 行動計画

### (1) 授業改善に関する行動計画

#### ア 学校全体で取り組む授業改善に向けて

- 1) 管理職による授業改善の推進
  - 管理職による授業観察と授業観察シートを使った評価・指導・助言
  - 互見授業実施と事後研修の充実(年間一人2回以上)
  - 授業規律の確立とアンケートの実施、アンケート結果をもとにした評価による検証の推進
- 2) 校内研修を活かした授業改善の推進
  - 県教育センターによる出前研修の充実等
  - 互見授業週間で教職員の授業から学び、良い点を自分の授業に取り組む自己研鑽を進める。
  - 校内研究でのICT活用実践講座
- イ 習熟の程度に応じた指導の充実に向けて(補充指導の充実を含む)
  - 1) 習熟度別少人数指導教員・学力向上対策支援教員の活用
    - 習熟度別指導推進教員による3回の授業公開を実施し、研修会等で身につけた優れたノウハウを普及させる。
    - 習熟に応じたプリントや教材、授業とリンクした個に応じた家庭学習課題など、きめ細かな授業や指導の実践。
  - 2) 意欲的に取り組ませるためのコース選択の工夫(各学期ごとに1回ずつ実施)
  - 3) 習熟の程度による少人数授業により、つまづきを早期に発見し、個別指導を実施
  - 4) 学力調査B問題に対応する力を育成するための言語活動の充実重点を置いた授業の推進

#### ウ 司書教諭等を核とした学校図書館を活用した指導体制の確立に向けて

- 1) 学校図書館を活用した授業を教育課程に位置づけ、全学年で実践。
- 2) 学校図書館関係者会議、保幼小中一貫した読書指導の推進。
- 3) 村子ども読書推進協議会を年回3回開催し、保幼小中が常に連携しながら一貫した読書指導の推進。

#### エ 市町村の教科部会を活用した授業改善に向けて(特に中学校)

- 1) 全教科・領域のバランスのとれた教育課程の組織的研究体制の確立
- 2) 国東地区教科部会の組織をあげた取組やネットワークを活用した授業改善。
- 3) 地区教科部会ごとの年1回以上の授業研究会の実施と事後研究会の充実による授業改善の推進。
- 4) 各種学力調査の結果分析をもとに、地区教科部会ごとにその専門性を活かしたフォローアップシートの作成。(全国学力学習状況調査・県学力定着状況調査・村総合学力調査)
- 5) フォローアップシートの作成を通じた児童生徒の学力の課題把握により、授業のあり方を振り返り、授業改善に役立てる取組の推進。

### (2) 学びに向かう学校づくりに関する行動計画 (幼保小の連携・小中連携を含む)

- 1) 教育課程特例校の申請による小中一貫型教育の推進による学びに向かう学校づくりの推進。
  - 小中一貫した生活習慣や学習規律の確立。
  - 「ふるさと科」を新設し、ESDの視点を取り入れたふるさと学習の推進。
  - 中学校進学時の不安や学校不適應など、「中1ギャップ」への対応。
  - 英語科・数学科における中1ギャップの解消と学力向上対策。
  - 9年間を通じた体力・泳力カードを活用した体力向上の推進。
  - 幼小中連合体育大会の実施。
- 2) 小中一貫した取組の視点からの「家庭学習のすすめ」の作成と見直し。
  - 小中連携による家庭学習の充実をめざし、小1～中3まで継続して使用。
  - 家庭学習を支えるポイントを明記し、学校と家庭が連携して子どもたちの家庭学習習慣の

### (3) 保護者・地域と連携した学力向上の取組に関する行動計画

#### ア 放課後や土曜日の教育環境の充実

- 1) 放課後を活用した学力向上の取組
  - かっこ塾(小4～小6, 水曜日実施)
  - 水曜日塾(中2, 水曜日実施)
  - 数学塾(中1～中3を対象に各学年1回実施)
- 2) 土曜日を活用した学力向上の取組
  - 毎月1回の土曜授業の実施(小1～小6, 中1～中3, 土曜日実施)
  - 土曜日塾(中3, 土曜日実施)

### (4) その他

- 1) 学校・家庭・地域が連携して「学力向上」の協働達成をめざす
  - 毎日、家庭学習時間確認の声かけを保護者がする
  - 家庭学習や読書に集中できる環境をつくる
  - 毎月1回授業公開をする

1